

証券コード：7472

“百年の信頼を、未来につなげる”

会社説明会

2023年2月18日（土）



株式
会社

鳥羽洋行



鳥羽洋行が皆様へお伝えしたい事



- ◆ 会社概要
- ◆ 鳥羽洋行を知る
- ◆ 業績について
- ◆ 今後の戦略について
- ◆ 積極的な株主還元



会社概要

株式会社鳥羽洋行 (TOBA,INC.)

本社所在地

- 東京都文京区水道二丁目8番6号

資本金

- 11億4,800万円

従業員数 (2022年12月31日現在)

- 【連結】291人・【単体】265人

※従業員数は、嘱託社員を含みます。

連結売上高 (2022年3月期)

- 297.3億円

販売拠点

- 国内22拠点・海外3カ国5拠点

上場市場

- 東京証券取引所スタンダード
(証券コード 7472)



<東京都文京区 本社外観>



会社概要 ～鳥羽洋行の沿革～

創業から116年、生産設備の専門商社としてモノづくりに貢献

1906年9月

創業（中国大連市）



創業者：鳥羽真作



1949年12月

設立（東京都銀座）



旧本社（銀座）

1995年11月

JASDAQ市場上場



二代目社長：鳥羽実

2022年4月

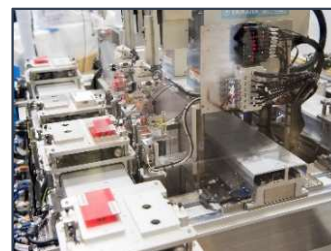
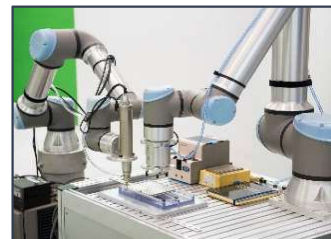
市場再編により
スタンダード市場へ

■ 工場の多様化による要望の変化

「空圧のTOBA」から「FAプランナーTOBA」へ



昭和30年～40年代



昭和40年代以降

■ グローバル展開

2008年12月

鳥羽（上海）貿易有限公司 設立

2012年5月

TOBA (THAILAND) CO.,LTD. 設立

2014年7月

TOBA,INC.ハノイ駐在員事務所 設立

2020年6月

TOBA,INC (VIETNAM) CO.,LTD 設立



百年の信頼を、未来につなげる。

企業理念の「**信用第一主義**」を貫き、産業の発展と地球環境に貢献する企業を目指します。

社 是（経営理念）

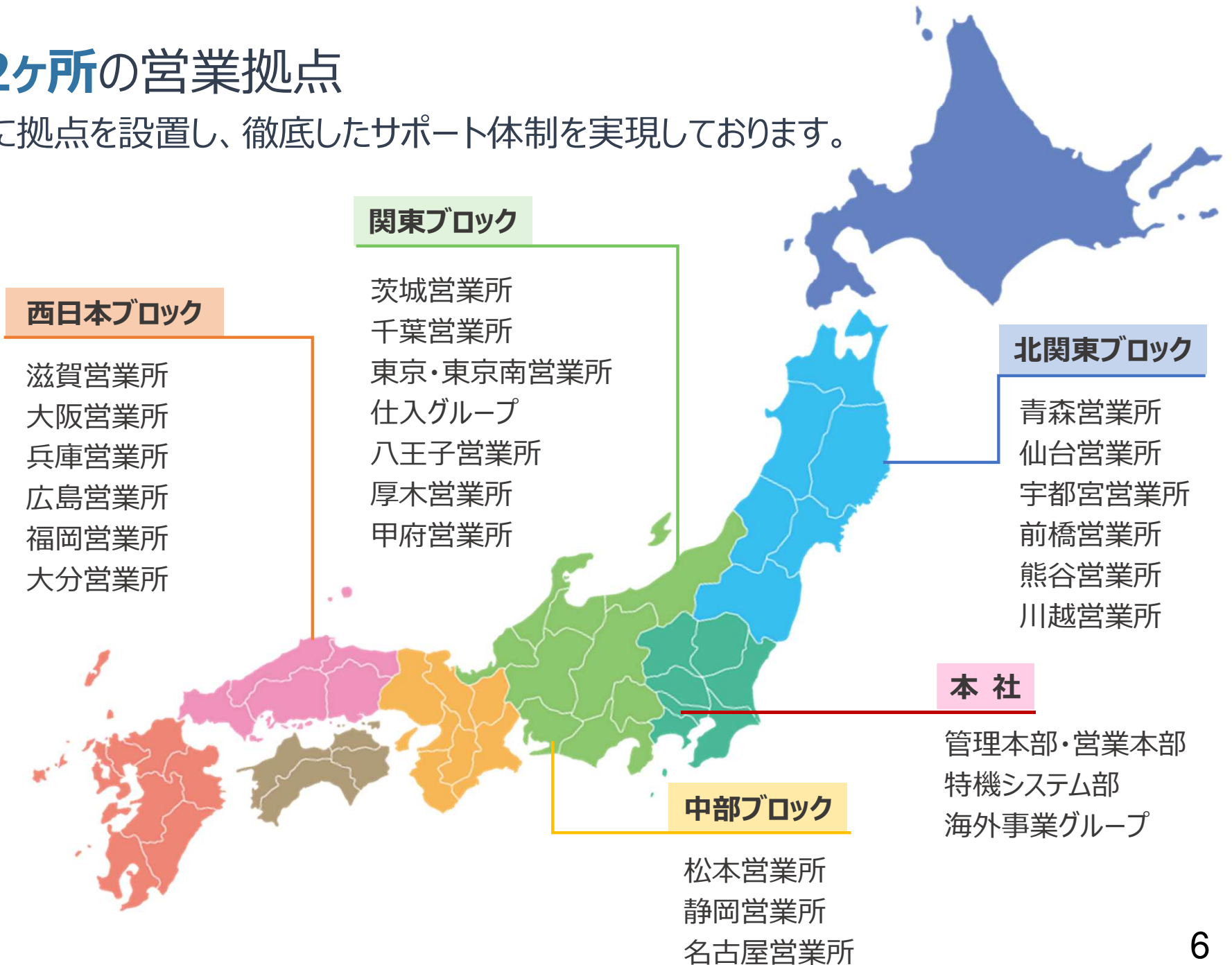
1. 当社は社会人類に貢献するためにある。
2. 当社は社員の向上と幸福を計るためにある。
3. 当社は最大ならずとも最良の会社たることを期する。
4. 当社は明朗、勤勉、練達の社員のみをもって結成する。
5. 当社は何事にも無理なく、堅実に、しかも進取、独創、能率的に経営し、信用を第一におく。



会社概要 ～国内外に広がる販売ネットワーク～

国内22ヶ所の営業拠点

全国各地に拠点を設置し、徹底したサポート体制を実現しております。





会社概要 ～国内外に広がる販売ネットワーク～

国外 5ヶ所の営業拠点

中国

- 鳥羽（上海）貿易有限公司（2008年）
- （同公司）深圳分公司（2011年）
- （同公司）蘇州分公司（2014年）

ベトナム

- TOBA,INC. (VIETNAM) CO.,LTD（2020年）

タイ

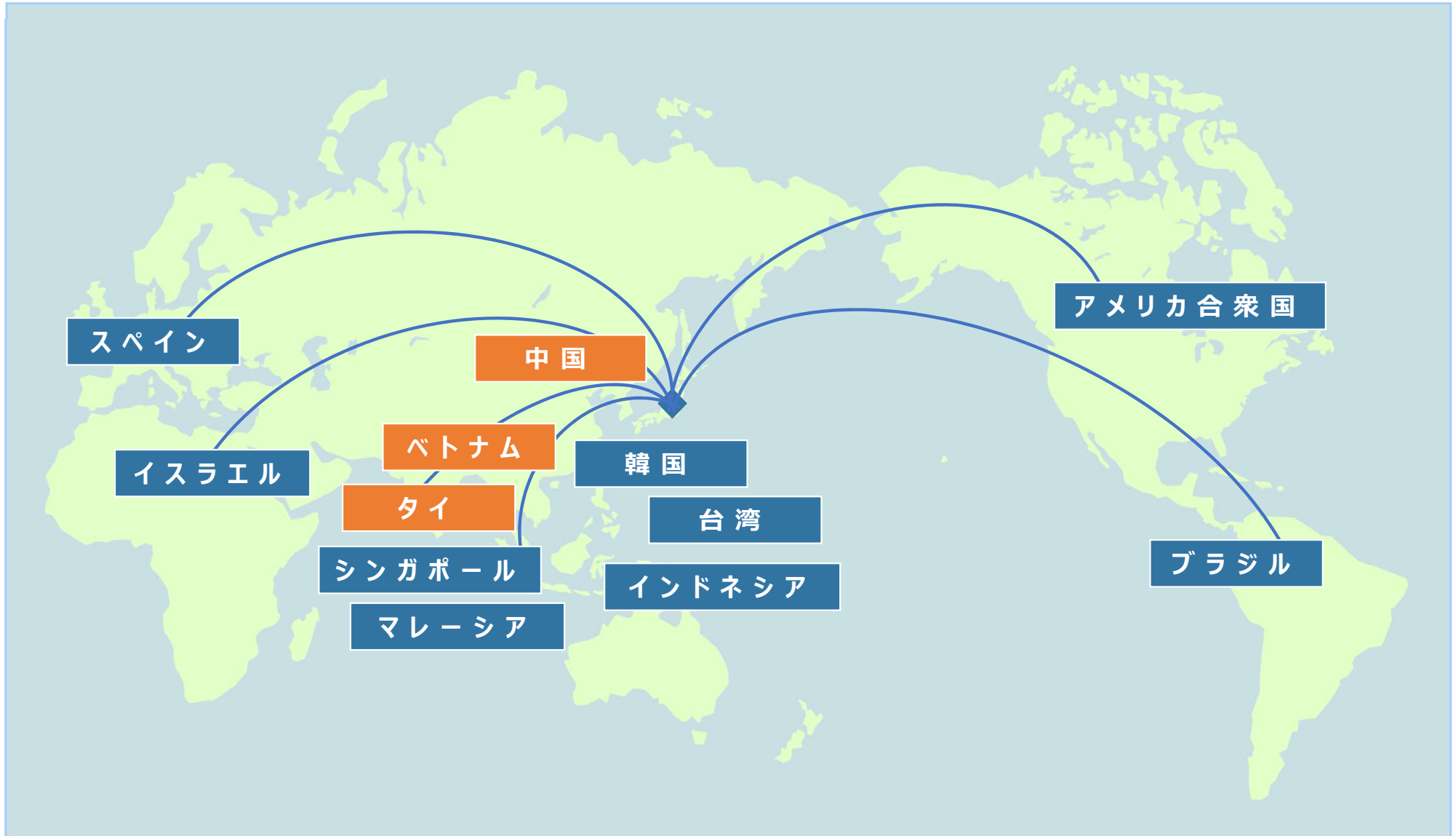
- TOBA (THAILAND) CO.,LTD. (2012年)





会社概要 ～国内外に広がる販売ネットワーク～

「海外事業グループ」を通じて国内から全世界へ商材を販売しております。





鳥羽洋行を知る ～生産設備の専門商社～

私たちの生活を取り巻くあらゆるモノが工場で作られています。



鳥羽洋行は、あらゆる生産設備に関する
商材を取り扱う専門商社です。



鳥羽洋行を知る ～販売体制～

鳥羽洋行は同業他社と共に「**機械工具専門商社**」と一括りに表現されますが、各社ごとに事業の特徴に違いがあります。

1. 販売形態による分類

- ① **直販型**
- ② 卸売型
- ③ 通信販売型

2. 取扱い商品による分類

- ① **FA機器**
- ② 工作機械関連
- ③ 電気部品・部材
- ④ その他

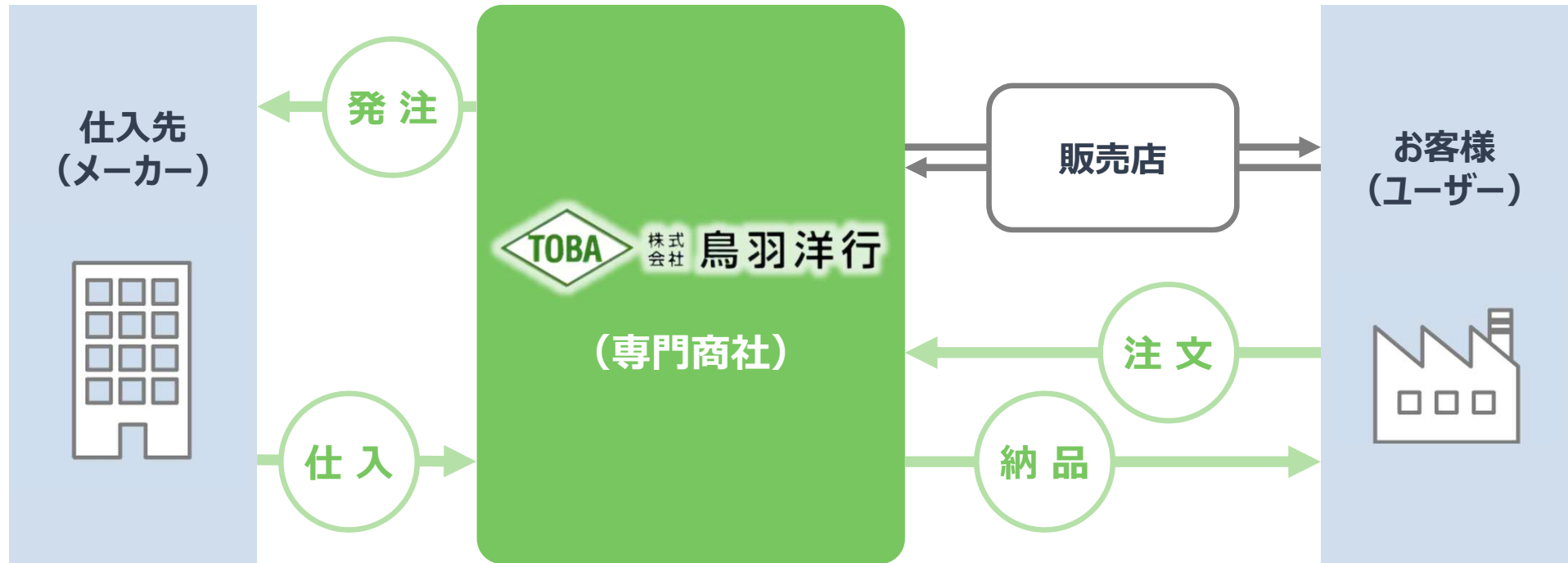
3. 販売地域による分類

- ① **広域展開**
- ② 地域限定



鳥羽洋行を知る ～販売体制～

当社は、お客様(ユーザー)直販体制を構築しております。お客様は当社に直接注文/問合せすることで、**スピーディーな納期/対応/交渉が可能**になります。お客様との間に販売店を通さないことから中間工数不要なため、**コストダウン**と**業務の効率化**を実現しております。



「直販体制」のメリット

- お客様との接点が多く、情報量が豊富で交渉がスムーズ
- 販売店を介さないためデリバリーが早い



鳥羽洋行を知る ～取扱商品分類～

制御機器 (29.1%)



エアシリンダ
(空気圧機器)



バルブ
(空気圧機器)



各種センサ

F A 機器 (48.4%)



産業用ロボット
(大型・小型・協働)



マウンター
(半導体・電子部品)



レーザー加工機

産業機器 (22.5%)



電動ドライバー
(組立て工具)



ベルトコンベア
(搬送)



電気チェーンブロック
(牽引・搬送)



(ご参考)

鳥羽洋行を知る ～注目商品 『協働ロボット』～

協働ロボットとは、本体に安全センサーを組み込むなど、**人に対する安全性を確保**できるようになったロボットです。特別な安全対策を講じる必要が少なく、**作業者のすぐ近くで使用できる**ことから、導入の幅が広がっております。

ユニバーサルロボット
UReシリーズ



カワダロボティクス(株)
NEXTAGE



写真提供：カワダロボティクス株式会社



(ご参考)

鳥羽洋行を知る ～卓越した専門スキル～

鳥羽洋行では、営業担当者による各種専門資格の取得を推進しております。国家資格に加え 各メーカーの**SE（セールスエンジニア）認定**などを取得し、メーカーの代行営業を実施しております。

資格名等（重複所持含む）

| | |
|-------------------|-----|
| ■ 空気圧装置組立技能士 1級 | 79名 |
| ■ 空気圧装置組立技能士 2級 | 57名 |
| ▲ SMC SE認定 | 65名 |
| ▲ IAI SE | 58名 |
| ▲ デンソーロボット SE認定 | 47名 |
| ▲ パナソニック IPD SE認定 | 3名 |
| ■ 2級建築施行管理技術 | 1名 |
| ■ その他 | 8名 |





業績について ~2023年3月期第3四半期決算~

<連結損益計算書の概要>

(単位：百万円)

| | 22/3月期 3Q | 23/3月期 3Q | 前期比 (増減率) | 備 考 |
|----------------------|--------------|--------------|--------------|-----------------------------------|
| 売上高 | 21,905 | 21,576 | ▲1.5% | |
| 営業利益 | 1,516 | 1,203 | ▲20.7% | ・売上総利益率 ▲0.5 P ・販管費は前期比 +8.26% |
| 営業利益率 | 6.9% | 5.6% | | |
| 経常利益 | 1,585 | 1,289 | ▲18.7% | |
| 経常利益率 | 7.2% | 6.0% | | |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 1,119 | 898 | ▲19.8% | |
| 四半期純利益率 | 5.1% | 4.2% | | |



業績について ～2023年3月期第3四半期決算～

<連結貸借対照表の概要>

(単位：百万円)

| | 22/3月末 | 構成比 (%) | 22/12月末 | 構成比 (%) | 備 考 |
|------------------------|--------|------------|---------|------------|-----|
| 流動資産 | 21,761 | 75.1 | 21,921 | 76.9 | |
| 現金・預金 | 10,100 | 34.9 | 10,838 | 38.0 | |
| 受取手形・売掛金 ※電子記録債権を含む | 11,251 | 38.8 | 10,546 | 37.0 | |
| 商品 | 275 | 1.0 | 413 | 1.5 | |
| 固定資産 | 7,206 | 24.9 | 6,602 | 23.1 | |
| 資産合計 | 28,968 | 100.0 | 28,524 | 100.0 | |
| 流動負債 | 9,237 | 31.9 | 8,710 | 30.5 | |
| 支払手形・買掛金 ※電子記録債権を含む | 8,129 | 28.1 | 8,270 | 29.0 | |
| 固定負債 | 450 | 1.6 | 448 | 1.6 | |
| 負債合計 | 9,687 | 33.4 | 9,158 | 32.1 | |
| 純資産合計 | 19,280 | 66.6 | 19,365 | 67.9 | |
| 負債純資産合計 | 28,968 | 100.0 | 28,524 | 100.0 | |



業績について ~2023年3月期の連結業績予想~

(単位：百万円)

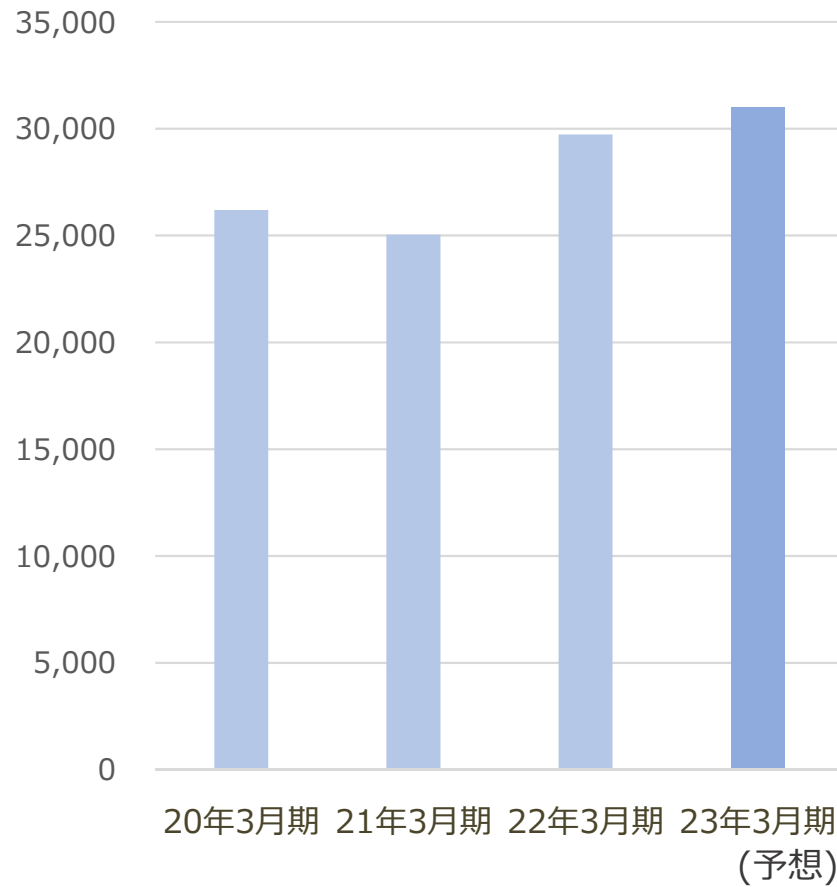
| | 22/3月期 (実績) | 23/3月期 (予想) | 前期比 (増減率) |
|---------------------|----------------|----------------|--------------|
| 売上高 | 29,730 | 31,000 | 4.3% |
| 営業利益 | 1,971 | 1,960 | ▲0.6% |
| 営業利益率 | 6.6% | 6.3% | |
| 経常利益 | 2,061 | 2,070 | 0.4% |
| 経常利益率 | 6.9% | 6.7% | |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 1,424 | 1,440 | 1.1% |
| 当期純利益率 | 4.8% | 4.6% | |



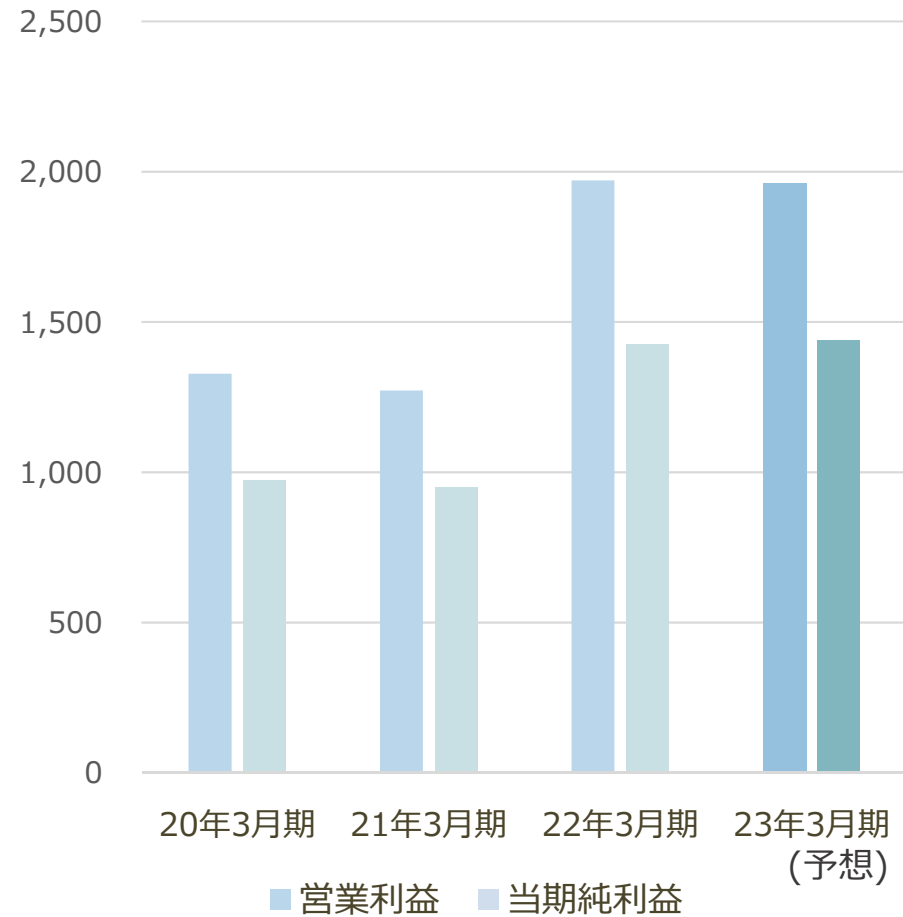
業績について ~連結業績の推移~

(単位：百万円)

連結 売上高 推移



連結 営業利益/当期純利益 推移





今後の戦略について

海外及び国内の市場動向

海外

世界的インフレ、米国金利政策により、米国経済を中心に景気減速の懸念
欧州経済は、ロシアのウクライナ侵攻の長期化によるエネルギー不足等の地政学的リスクあり
世界的な資材の高騰や入手困難による、生産抑制や設備投資縮小の懸念

中国

ゼロコロナ政策緩和後のコロナ感染再拡大による、設備投資及び生産縮小懸念や、米国/
台湾間との半導体に関連する諸問題や地政学的リスクあり
一方、電気自動車関連の設備投資は継続的に旺盛と予測

国内

記録的な円安は落ち着きをみせたが、世界的な資材等の高騰による生産コストの上昇
自動車は生産数が減少傾向にあるが、EV / C A S E 関連への設備投資は好調
スマホ及びP C 関連半導体の需要は低迷したが、その他半導体の需要は高止まり傾向
人手不足による生産システムの自動化の流れは継続し、ロボット需要は増加傾向



今後の戦略について

企業価値向上へ向けた取組み 『重要課題（マテリアリティ）』

当社は、サステナビリティ委員会において「重要課題(マテリアリティ)」を抽出し、サステナビリティの取組みと中期経営計画戦略を連動させ、企業価値の向上と持続可能な社会の実現を目指した取組みを行います。

当社を取り巻く環境・社会からの要求

カーボンニュートラル
SDGs

トランスフォーム
新たな事業収益

人口減少
人材・労働力不足

デジタル化
DX戦略

ガバナンス強化
透明性

当社の重要課題（マテリアリティ）

環境にやさしい商品開発
他社との差別化

新たな販売市場開拓

人材投資と人材確保

新基幹システムによる
効率化・顧客満足

コーポレート・ガバナンス
強化

中期経営計画戦略 ～Next Stage 2025～

鳥羽洋行の「あるべき姿」

サステナビリティ経営

業績の拡大

人的資本の向上

生産性・業務効率向上

「信用第一主義」



今後の戦略について

企業価値向上へ向けた取組み 『重要課題（マテリアリティ）』

| 取り巻く環境・社会からの要求 | 当社の重要課題 | 鳥羽洋行の「あるべき姿」と具体的な取組み |
|---------------------|----------------------------------|--|
| カーボンニュートラル・SDGs | 同業他社と差別化できる環境負荷の低い高付加価値商品の発掘 | サステナビリティ経営 <ul style="list-style-type: none">・省エネ機器の販売注力と新商材の開拓・自社でのCO₂排出量削減取組み |
| トランスフォームによる新たな事業収益 | 技術革新が進む産業界での当社業容の拡大できる新しい販売市場の開拓 | 業績の拡大 <ul style="list-style-type: none">・当社ネットワークを活かした顧客/ルート開拓・ロボット及び自動化システム営業強化 |
| 人口減少による人材不足（労働人口不足） | 人への投資による既存人材の成長と将来を担う感性豊かな人材の確保 | 人的資本の向上 <ul style="list-style-type: none">・働きやすい職場環境整備、人材育成・女性の活躍、幅広い人材の採用 |
| デジタル化・DX戦略の推進 | 基幹システムの更新等による業務効率と顧客満足度の向上 | 生産性・業務効率向上 <ul style="list-style-type: none">・顧客/社内の業務効率改善・ペーパーレス化（SDGs） |
| ガバナンス強化と透明性 | 激動する社会情勢に対応するためのコーポレート・ガバナンスの強化 | 「信用第一主義」 <ul style="list-style-type: none">・会社機関とサステナビリティ委員会との融合・コーポレート・ガバナンスコード遵守と開示 |



今後の戦略について

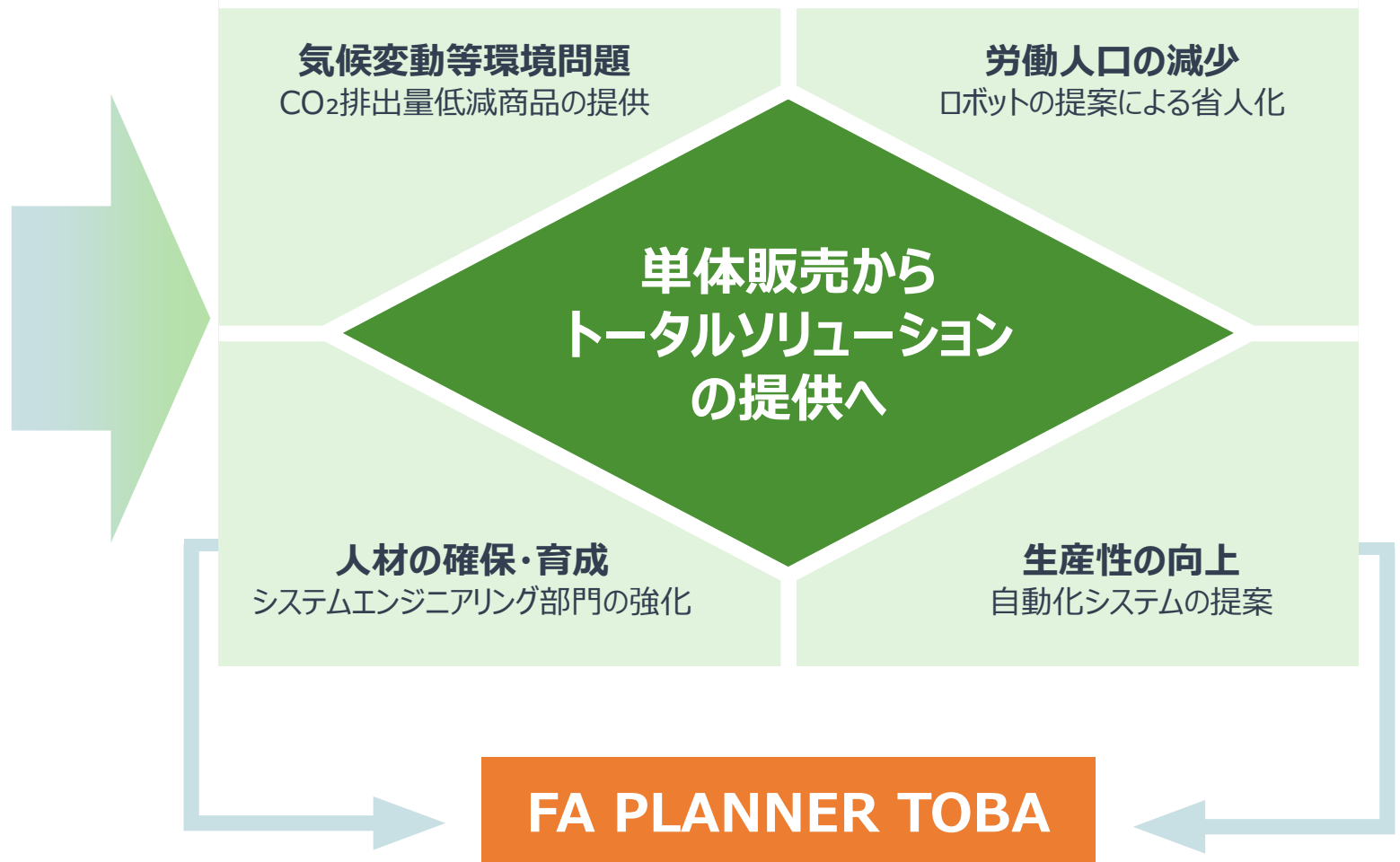
企業価値向上へ向けた取組み 『トランスフォーム』

現状の事業から、新たな収益構造の構築

現状の事業

『**機械工具の専門商社**』

新たな収益構造
鳥羽洋行の『**あるべき姿**』





今後の戦略について

＜展示会出展報告＞

● 第2回 工場の協働ロボット利活用展

会 場：東京ビッグサイト

開催日：2022年7月20日～22日

来場者数：1,403名

● 第25回 関西機械要素技術展

開催日：2022年10月5日～7日

会 場：インテックス大阪

来場者数：2,058名



計**3,461**名のお客様にご来場いただきました。

当社の取扱い商品や事業内容を紹介し、商談を行いました。今後の注力商品についてもデモ機実演を交えて紹介し、具体的な引き合いを多数いただきました。

今後も主要な展示会に出展し、売上規模拡大と鳥羽洋行ブランドの浸透を行い、企業価値の向上を目指します。



積極的な株主還元 ～株価・配当情報～

終値 (2/17) **2,863円**

今期の配当金予想 **120円**

※2022年5月11日発表

予想配当利回り **4.19%**



積極的な株主還元 ～株価・指標～

終値 (2/17) **2,863円**

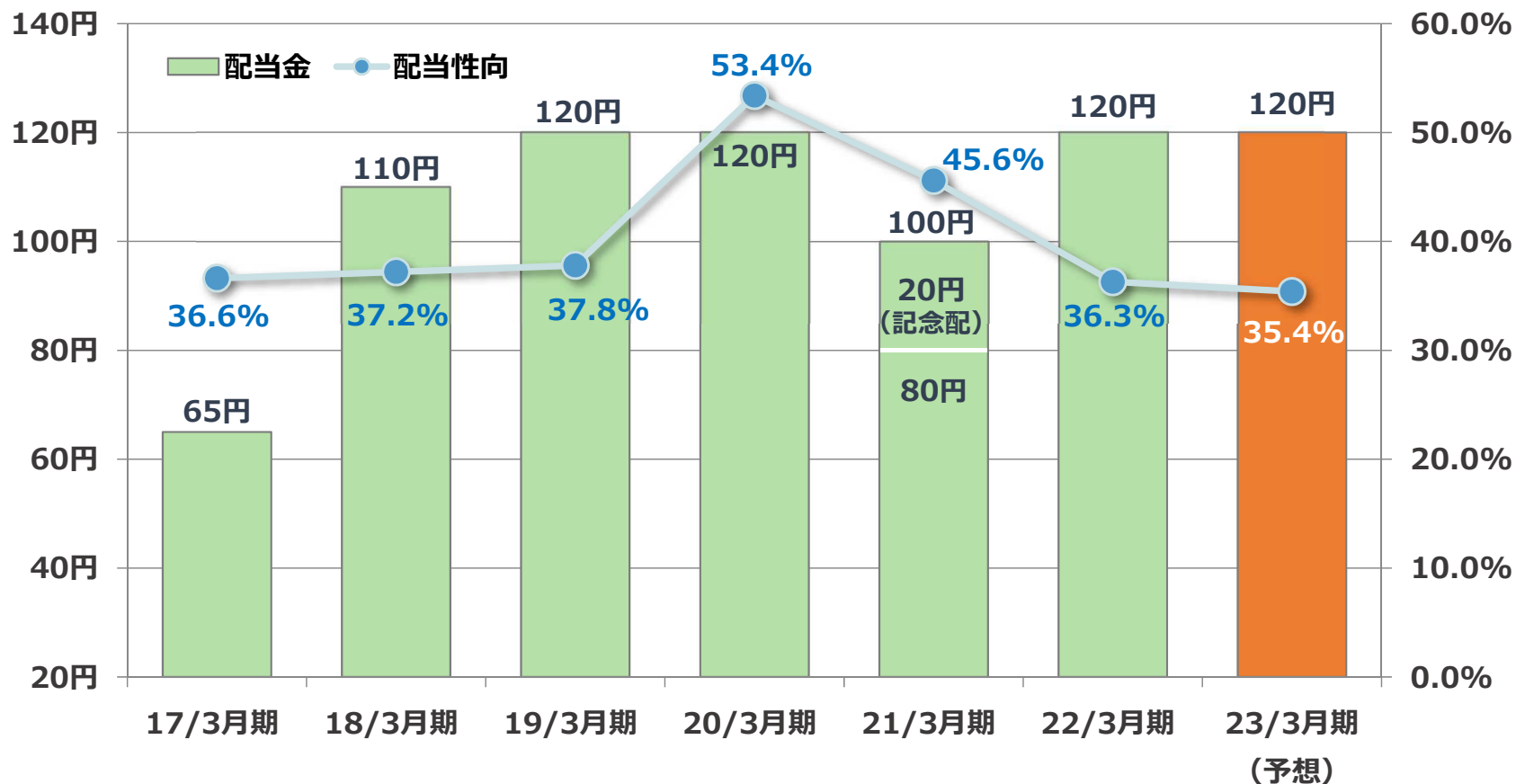
P B R **0.61倍**

P E R **8.41倍**



積極的な株主還元 ～配当の推移～

1株当たりの配当金及び配当性向の推移



※21/3月期については、創業115周年記念の記念配当金20円が含まれております。

◆ 当社の株主還元方針

- 1株当たりの配当金 40円下限
- 連結配当性向 35%以上



積極的な株主還元 ～株主優待～

- 株主優待は、「QUOカード」を採用しています。
- 2022年3月2日に株主優待制度拡充を
発表しております。（赤枠部分を追加）



| 対象株主 | 継続保有 3年未満 | 継続保有 3年以上 |
|----------------|-----------|-----------|
| 100株以上500株未満 | 1,000円 | 2,000円 |
| 500株以上1,000株未満 | 2,000円 | 4,000円 |
| 1,000株以上 | 3,000円 | 6,000円 |

<QUOカード購入代金の一部は、「緑の募金」へ寄付されます。>

株主優待の割当基準日は、毎年9月末日です。

株式会社鳥羽洋行
証券コード

7472

<https://www.toba.co.jp/>



この資料には、2023年2月17日現在における弊社の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではございません。

■ お問い合わせ先

株式会社 鳥羽洋行

管理本部総務グループ I R 担当

住 所：〒112-0005

東京都文京区水道2丁目8番6号

電話番号：03-3944-4031

F A X：03-3944-4091

E メール：kanri-01@toba.co.jp